

学校関係者評価書

四日市市立 大矢知興譲小 学校 コミュニティスクール運営協議会

委員長 加藤 英隆

評価項目	評価のまとめ
1 『めざす子どもの姿』について「主体的に活動する興譲っ子の育成」につながる教育活動ができたか ◆ビジョン重点1 確かな学力の定着 ◆ビジョン重点2 豊かな人間性の育成 ◆ビジョン重点3 健康・体力の向上	○ICT教育により、授業の姿が大幅に変化してきているのを実感した。タブレット学習の今後に期待したい。 ○確かな学習力の定着については、緊急事態宣言下の中でもZOOMを使い、オンライン授業を取り入れたので、休校中であっても学力の低下は見られなかったのではないかなと思う。 ○子どもたちはタブレットを楽しく活用している。今後もオンライン授業の可能性があるので、どんどん授業に取り入れていってほしい。 ○地区・学年にもよるが、昨年より挨拶ができる子どもが増えていると思う。さらに広めていく手立て(放送で紹介するなど)が必要だと考える。 ●タブレットを活用した授業における姿勢(猫背・視力への影響など)が気になる。 ●今後、タブレットの使用頻度が増やすと思われるので、ブルーライトを防ぐフィルターをぜひ全学的に取りつけてほしい。 ●タブレットをどの程度有効活用できたのかという評価はどうなのか。 ●ICTを活用しての学習で、子どもの学習意欲の変容など、どの程度効果が見られたかを知りたい。
2 『めざす学校の姿』について「興譲の意義を受けつぐ保護者・地域とともに育つ学校」に向けた運営だったか ◆ビジョン重点4 学校教育力の向上 ◆ビジョン重点5 保護者・地域との協働 地域資源の教育への活用、運動会 学校支援ボランティアの活用	○教員にはない経験豊富なスキルを持った方が多くいるので、そうした地域人材への協力依頼を積極的に行っていただきたい。 ○毎日、HPにて学校の様子を知ることができるのでうれしい。 ○地域の方々の見守りのおかげで毎日安全に登校でき感謝している。 ○米作り体験やクラブ活動等で地域力を学習に活かした取組を今後も継続したり、広げていけたりしたら良いと思う。 ○子どもたちが学習活動に対する充実感・達成感を得て自信につなげられるよう、学習支援ボランティアの活動を今後も継続し、さらには発展させていってもらいたい。 ○学習ボランティアに参加し、子どもたちが意欲的に取り組む姿にこちらも元気をもらった。 ○学校、学級、保健、給食、スクールカウンセラーの便り等で、学校での教育活動や今求められている事柄がよくわかった。 ●コロナ禍の影響もあるが、地域の人材の活用方法、人材の掘り起こし方法をもっと検討する必要はないものかなと思う。
3 興譲協議会の活動について 授業視察、興譲館展示品の移設、中学校区3校合同開催 等	○今年度のCS中学校区合同開催は両地区の方との貴重な情報交換の場となり、改めて大切なことであったと実感した。今後も機会があれば合同開催実施し、発展的活動になればと願っている。 ○運営協議会の3校合同開催は、同一中学校の小中校の取り組み等の情報交換・意見交換のでき、意義ある取り組みであったと思う。今後も、継続していけたらと思う。 ○中学校区3校合同開催は、他校の協議会活動内容や中学校での子どもたちの様子がわかり、本校の活動内容を振り返ることができた。 ○興譲館展示の移設は、子どもたちの役に立つ展示の仕方で、大変良かったと思う。 ○興譲展示品の移設により、子どもたちの目に触れる機会が増えた。ぜひ、学習に活かしてほしい。 ○興譲館展示品の移設については、本協議会の意見がよく反映されていると思った。